

～ 県総体予選の戦いを終え、第二中学校の各部の人たちは、
今どんなことを思い考えているのでしょうか？各部の代表の人に聞いてみました ～

今まで自分たちを支えてくれて、ありがとうございました。
自分たちは試合に惜しくも負けてしまったけれど、これからは2年生の時代が来るので、自分たちができるサポートをしつつ、3年生として勉強に頑張りたいと思います。
1、2年生はこれからしっかり頑張ってください。

私たちは、女子団体が優勝することができて、すごく嬉しいです。とてもいい思い出ができました。
私たち以外の部は勝てなかったということを知って、とても嬉しい気持ちもあります。
県総体に向けて、残された時間を大切にして、これからも頑張りたいです。

最初に点差をつけられたときには、このまま自分たちは点が入らないのかと思ったけれど、ベンチの人たちの応援や会場の人たちの応援のおかげで、最後は27点まで得点することができました。
負けたけれど、全力を出して悔いの残らない試合にすることができたのでよかったです。
これからは勉強と遊びを大切にして、中学3年生の学校生活を楽しくしていきたいです。

市総体前に3年生が2人もケガをして、思うような練習ができないまま当日を迎え、市総体では思うようなプレーができませんでした。でも、2セット目は、みんなで声を出して一生懸命にボールをつないで頑張ることができたと思っています。
一昨日の土曜日の県選手権では、市総体に比べて足が動いていけれど、負けてしまいました。負けたのはくやしいですが、自分たちと一緒に経験したことを生かして、これから1、2年生には頑張してほしいです。



私たちは団体戦では優勝することができませんでした。勝つことができず、みんな悔しい気持ちでいっぱいでしたが、それまでの練習や本番で、みんな一生懸命に頑張ることはできていたと思っています。
個人戦では、2ペアが県総体出場を獲得し、3年生はみんな県総体に出場できるのでよかったです。
この仲間とともに練習できるのは残り1か月くらいしかないけれど、一生懸命に練習に励んで県総体で一つでも多く勝てるように頑張りたいです。

私は、少し前まで第一中の人たちと合同で練習し、合同チームで試合に出場していました。だから、一中と対戦することが正直少し嫌でした。
1年生4名は初めての試合でしたが、楽しんでくれたので嬉しかったです。
これから残り1年の間で、1回でも多く勝てるようにチームみんなで頑張りたいと思います。



今回の総体予選を終え、もっと頑張らないといけないと思いました。試合は2回で2回とも負けてしまったのに、県出場枠が3で、負けても県総体に出場できる状態でした。どうせなら一つでも勝って出場したかったという気持ちでいっぱいです。
今回負けたことをバネにして練習に必死に取り組み、県総体では勝ちたいです。
それと応援ありがとうございました。みなさんからの勝ってほしいメッセージでとてもやる気ができました。
今回の結果をしっかり受けとめて、県総体で絶対に勝てるように頑張ります。

* 下の言葉は、ある中学校の部活動を引退する生徒たちが、その時の思いを自分や後輩たちのために書き綴った文集の中からの抜粋です。なかなか味のある言葉ですよ。読んでみてください。

- 失敗して上手く出来なくて、怒られてばかりでも平気な顔していたけど、心の中では悔しくて、変なプライドが邪魔して本気になれない、そんな自分にむかついていた。
- 仲間を信じない人は強くなれない 仲間を助けない人は強くなれない
仲間を大切にしない人は強くなれない 自分を信じない人はもっと強くなれない
- 練習してない人が勝てるわけないだろ。適当にやってミスしたら仲間は許せない。一生懸命に練習してる人がミスしたらしょうがないって思えるだろ。
- 努力は報われるとは限らない。でも始めから努力しなければ結果は何も変わらない。
- 「努力は報われる」と言うが報われない事だってある。どんなに練習しても、頑張っても、一生懸命でも、それが結果になって返ってくるとは限らない。だけど、何もしないで終わるのは違う。「努力してもダメだった」じゃない、「努力してどうなったか」を考えるんだ。昔にはもう戻れない、前に進め